

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2015-211603(P2015-211603A)

【公開日】平成27年11月24日(2015.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-073

【出願番号】特願2014-93356(P2014-93356)

【国際特許分類】

H 02 K	3/02	(2006.01)
H 02 K	3/18	(2006.01)
H 02 K	7/14	(2006.01)
F 04 B	39/00	(2006.01)
F 04 C	29/00	(2006.01)
F 25 B	1/04	(2006.01)

【F I】

H 02 K	3/02	
H 02 K	3/18	P
H 02 K	7/14	B
F 04 B	39/00	1 0 6 E
F 04 C	29/00	T
F 25 B	1/04	A

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月22日(2016.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る電動機は、固定子鉄心および当該固定子鉄心に巻かれた固定子巻線を有する円筒形状の固定子と、固定子の内側に回転自在に設けられた回転子とを備えた電動機において、固定子巻線は、各相毎に複数の巻線が直列に接続されて構成され、各相毎の複数の巻線は、銅線とアルミニウム線の両方で構成され、固定子巻線は、Y結線され、各相毎の複数の巻線のうち銅線の巻線が電源線側、アルミニウム線の巻線が中性点側に配置されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固定子鉄心および当該固定子鉄心に巻かれた固定子巻線を有する円筒形状の固定子と、前記固定子の内側に回転自在に設けられた回転子とを備えた電動機において、前記固定子巻線は、各相毎に複数の巻線が直列に接続されて構成され、前記各相毎の複数の巻線は、銅線とアルミニウム線の両方で構成され、前記固定子巻線は、Y結線され、前記各相毎の複数の巻線のうち銅線の巻線が電源線側、アルミニウム線の巻線が中性点側に配置されていることを特徴とする電動機。

【請求項 2】

固定子鉄心および当該固定子鉄心に巻かれた固定子巻線を有する円筒形状の固定子と、
前記固定子の内側に回転自在に設けられた回転子とを備えた電動機において、
前記固定子巻線は、各相毎に複数の巻線が直列に接続されて構成され、
前記各相毎の複数の巻線は、銅線とアルミニウム線の両方で構成され、
前記固定子巻線は、結線され、前記各相毎の複数の巻線のうち相間接続に銅線の巻線
、銅線の巻線間にアルミニウム線の巻線が配置されていることを特徴とする電動機。

【請求項 3】

冷媒ガスを圧縮する圧縮機構部と、
前記圧縮機構部に回転を伝達して冷媒ガスを圧縮させる請求項 1 又は 2 記載の電動機と
を備えたことを特徴とする密閉型圧縮機。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の密閉型圧縮機と、
冷房運転時に凝縮器として作用し、暖房運転時に蒸発器として作用する室外熱交換器と
、
冷房運転時に蒸発器として作用し、暖房運転時に凝縮器として作用する室内熱交換器と
を少なくとも備えた冷凍サイクル装置。